

## 平成20年度 第3回豊田市スポーツ振興審議会 会議録

【日 時】 平成21年3月25日(水) 午後1時30分～3時00分

【場 所】 豊田市役所 南51会議室

【出席者】 (委員) 小幡 銀伸 ((財)豊田市体育協会 会長) 《会 長》  
鈴村 幸雄 (豊田市体育指導委員協議会 会長) 《副会長》  
岩月 富士雄 ((社)豊田市身障協会 理事)  
粕谷 睦 (豊田市区長会 理事)  
狩野 正人 (トヨタ自動車 人事部)  
北村 幸子 (豊田市女性スポーツ団体協議会 会長)  
手嶋 道雄 (豊田市スポーツ少年団 本部長)  
中川 淳 (市民公募)  
中野 幸彦 (学識経験者)  
平林 栄子 (スポーツ指導員)  
(事務局) 加藤 満正(教育次長) 幸村 的美(教育委員会調整監)  
山崎 隆弘(スポーツ課課長) 柴田 康宏(スポーツ課副主幹)  
坂井 京子(スポーツ課副主幹) 大嶋 守 (スポーツ課係長)  
鈴木 和光(スポーツ課係長) 熊谷 明典(スポーツ課係長)  
大橋 史幸(スポーツ課主査)

【傍聴人】 0人

【次 第】 1 教育委員会あいさつ  
2 議題 (1)「市民意識調査の結果について」  
(2)「団体ヒアリング調査の結果について」  
3 報告 (1)「平成21年度スポーツ課主要事業について」

### 【議事等の摘要】

#### 教育委員会あいさつ(教育次長)

豊田スタジアムのプールが去る1月17日に営業を再開した。本来、市民のみなさんには、安心・安全というキーワードで、施設管理を行わなければいけないのに事故が起きてしまい、お詫び申し上げます。

また、来年度の財政状況については、今年度に比べ、大変厳しいものとなっている。ただ、厳しいなかでも、市民の皆さんがスポーツを通して、元気でおられるのが一番大切な要素であるので、我々も一生懸命取り組んでいく。

## 議事

事務局：資料に基づき説明（資料１）

委員：アンケートの回収率が、今回は48.1%ということであるが、前回はどうかであったか。また、回答者の属性は、どのようであったか。

事務局：前回の回収率は、61.1%であった。

回答者の属性については、性別割合が男性：45.4%、女性：52.9%である。また、年齢割合については、各年代とも分散した結果となっており、極端な偏りはない。

委員：週1回以上のスポーツ実施率、市内のスポーツ施設利用率が、平成11年度と比較して、あまり変わりが無いのはなぜか。

平成11年度以降、施設整備を進めてきているが、今回の結果をどのように分析しているのか。

事務局：今回は、アンケートの単純な集計結果の報告であり、詳細な分析がなされていない段階である。新プランの策定にあたっては、アンケート結果の詳細な分析が必要であると考えており、次回、その結果についてお答えしたい。

事務局：本来であれば、今回、詳細分析をしてお示しすべきであったが、次回の審議会までお時間をいただき、数値の分析を充分に行ったうえ、プランに活かしていきたいと考えているため、ご了承いただきたい。

委員：1年間のスポーツ試合観戦率が、前回に比べて下がっているのはどうしてか。

事務局：どうして観戦に行かなかったかという、設問をしなかったのが理由がはっきりしないが、観戦をした人の中の4割の方が市内の施設には観戦に行ったことがないと回答しており、これらの方が市内の施設に観戦に行くような、「みる」スポーツの施策を振興していくことにより、全体の観戦率も増加するのではないかと考えている。

事務局：資料に基づき説明（資料２）

委員：ヒアリングされた団体の中身を教えてください。

事務局：体育協会加盟団体：36団体、女性スポーツ団体：4団体、スポーツ少年団：16団体  
体育指導員協議会：1団体、スポーツクラブ：11団体の計68団体である。

委員：68団体の回収率はどうか。また、ヒアリングの団体に、合併町村は含まれているのか。

事務局：回収率については、現在41団体から回答をいただいている。

また、体育協会の加盟団体等を対象としているため、特に合併町村の団体を対象にしているということはない。加盟団体のなかに合併町村の団体も加入していると考えていただきたい。

委員：指導者不足であるとか、人に関わる問題が多いと思われるが、今後どのような施策を考えているのか。

事務局：指導者が不足していると答えた団体の多くは、スポーツクラブであった。今後、このような問題にどのように取り組んでいくかが、「支える」スポーツとしての施策の課題であると考えている。

事務局：国が全国的な調査をするなかで、現在設立している豊田市の準備クラブにおいても、指導者・運営スタッフの不足、いわゆる人材の不足を大きな課題としてあげている。こう

した状況の中、豊田市としても、来年度、指導者の養成講座に取り組む予定をしており、スポーツクラブの運営にあたるクラブマネージャーに関しても、市の認定のクラブマネージャーとして、より普及・促進を図っていきたいと考えている。

委員：来年度から具体的に動き出すということであり、期待するところであるが、やはり一番難しいところでもあるので、しっかりとした計画を立てて実施していただきたい。

委員：地区総合型スポーツクラブの地域への情報発信の課題についてであるが、各スポーツクラブは、ホームページでリンクしているのかどうか。また、市としての取組みはどうか。

事務局：地域への情報発信は、なかなかできないのが現実で、各クラブは会員の増加を図るため、情報発信の手段として地区回覧板を利用しているが、受けて側の反応がないのが現実である。また、クラブ側の問題として、スタッフの不足等があり、情報発信力が弱いクラブもある。その一方、かなり積極的に展開しているクラブもあり、格差が生じている状況である。なお、クラブによって、ホームページの開設有無に格差があるので、広報とよたにて1年に一度スポーツクラブの特集を掲載するとともに、市のホームページへのリンクについても現在検討しているところである。

## 報告

事務局：資料に基づき説明（資料3）

以上 平成20年度 第3回豊田市スポーツ振興審議会終了